

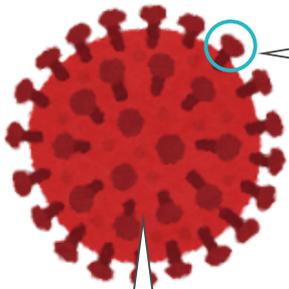
コロナウイルスには色々な種類があります。人に感染するコロナウイルスはこれまで6種類知られてきました。2020年より流行している、新型コロナウイルスは7番目に見つかった新しいタイプのコロナウイルスです。



大きさは0.1μmととても小さく、人の内に入ると私たちの正常な細胞の働きを壊してしまいます。

今回はこの新型ウイルスについて当院で行っているPCR検査と抗原検査について説明します

## コロナの構造



### スパイク蛋白

ウイルスの周りにトゲのようなものがついており、先端を細胞につけて身体の中に侵入します。  
抗原検査で検出されます

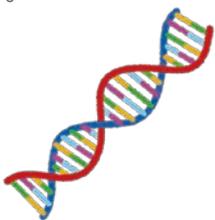
### RNA遺伝子

コロナウイルスの中にはたくさんの遺伝子情報が入っています。  
PCR検査で検出されます。

## PCR検査とは

PCR検査は、新型コロナウイルスの中に沢山入っているRNA遺伝子を見つける検査です。

抗原検査よりも少ない量のウイルスを見つけることができます。



PCR検査では鼻の粘膜を綿棒で採取し、専用機器でウイルスを壊し、目印となる遺伝子を増やして見つけています。

当院の検査では、約15分というスピードで結果が分かります。

PCR検査で陽性と判定された場合は、新型コロナウイルスに感染しているということになります。

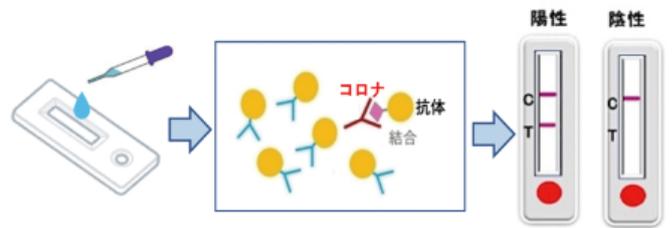
## 抗原定性検査とは

新型コロナウイルスに対する抗体を用いてウイルスが持つスパイク蛋白を検出する検査方法です。

抗原キットのプレートにコロナウイルスに対する抗体が塗られており、ウイルス表面のスパイク蛋白の断片を検出して検査を行います。

検体中にスパイク蛋白があると、抗体と結合してラインが出てきます。2本の線が出ると、現在新型コロナウイルスに感染しているということになります。

当院の検査室では約15分で結果が分かります。



PCR検査に比べ検出率は劣りますが、特別な検査機器を必要としないことから速やかに判断が必要な場合に用いられることが多いです。

気になる方は、お近くの薬局でも抗原キットを購入できる場合がありますので、ご自分で検査されるのも良いかもしれません。



## 最後に

新型コロナウイルスの検査結果が陰性であっても、感染を完全に否定するものではありません。検査をした時点でウイルス量が少ないと陰性になってしまうこともあります。

体調に異変を感じた場合は、速やかに病院を受診し、医師の指示に従ってください

